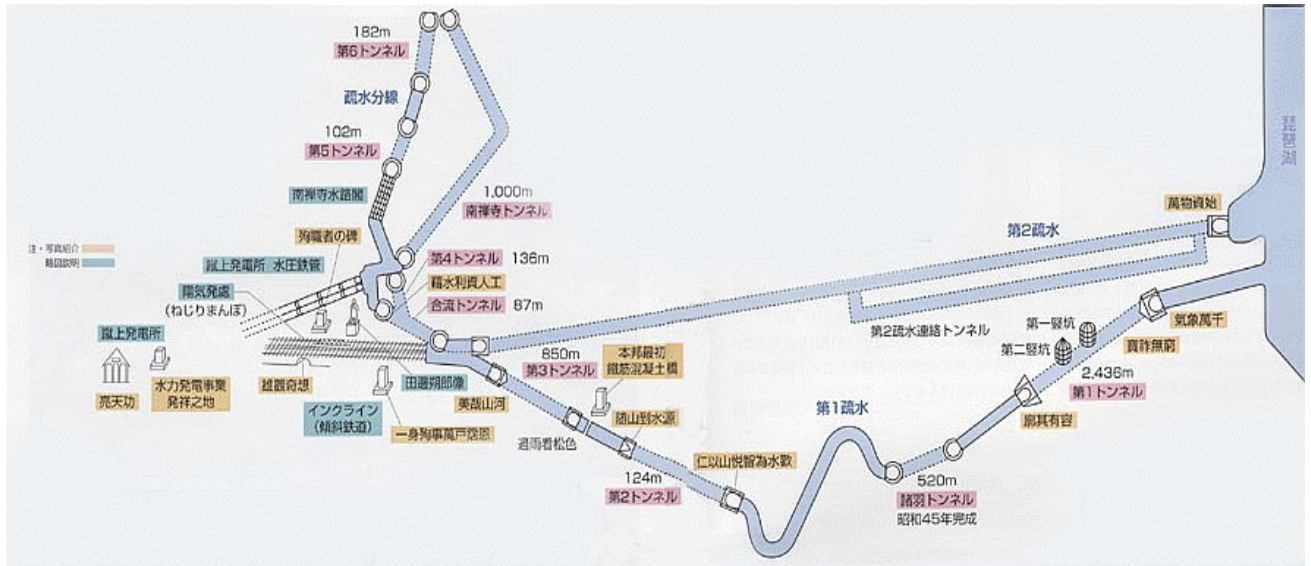


琵琶湖疏水の洞門入り口の扁額をご案内します。

(2010年4月9日)



- 1 第1疏水第1トンネル東口(大津側) **氣象萬千 (きしょうばんせん)** 伊藤博文 筆

千変万化する氣象と風景の変化はすばらしい (宋・岳陽樓記の一節)



- 2 第1疏水第1トンネル内壁 **寶祚無窮 (ほうそむきゅう)** 北垣国道 筆

皇位は永遠である

- 3 第1疏水第1トンネル西口(藤尾側) **廓其有容 (かくとしてそれかたちあり)** 山縣有朋 筆

悠久の水をたたえ、悠然とした疏水のひろがり、大きな人間の器量をあらわしている



- 4 第1疏水第2トンネル東口 **仁以山悦智為水歡** 井上馨 筆

(じんはやまをもつてよろこびちはみずをなしてよろこぶ)

仁者は動かない山を悦び、智者は流れゆく水を為すを歡びとする(論語)



5 第1 疏水第2トンネル西口 **隨山到水源**(やまにしたがいきすいげんにいたる)西郷従道 筆

山にそって行くと水源にたどりつく



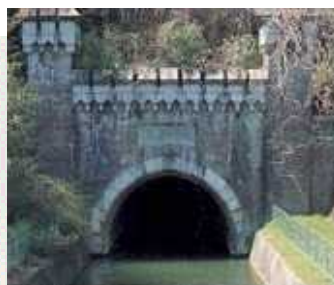
6 第3トンネル東口 **本邦最初鐵筋混凝土橋**

昭和7年 建立されたわが国 初の鉄筋コンクリート橋の碑



7 第1 疏水第3トンネル東口 **過雨看松色** (かうしょうしよくをみる) 松方正義 筆

時雨が過ぎるといちだんと鮮やかな松の緑をみることができる(唐・盧綸の詩)



8 第1 疏水第3トンネル西口 **美哉山河** (うるわしきかなさんが) 三条實美 筆

なんと美しい山河であることよ くにの宝である美しい山河を守るには、為政者の徳と国民の一致が大切との含意も(史記・呉記列伝)



9 蹴上 疏水合流トンネル北口 **藉水利資人工**(すいりをかりてじんこうをたすく) 田邊朔郎 筆

自然の水を利用して、人間の仕事に役立てる

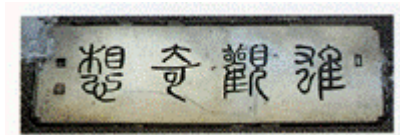


10 **一身殉事萬戸霑恩**(いっしんことにじゅんずるはばんこおんにうるおい) 田邊朔郎 筆

昭和 35 年 田邊朔郎が私費建立した第 1 疏水殉職者慰霊碑(蹴上)

12 蹴上”ねじりマンポウ”南側 **雄觀奇想**(ゆうかんきそう) 北垣国道 筆

見事ながめとすぐれた考えである



マンポウ・・・オランダ語で小さなトンネルの意味

13 第 2 期蹴上発電所入口 **亮天功** (てんこうをたすく) 久邇宮邦彦 筆



民を治めその所を得さしめる(書経・舜典)